

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年9月16日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893100024		
法人名	医療法人社団 健晴会		
事業所名	グループホーム 温泉大洗	ユニット名	一階ユニット
所在地	〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町3446-8		
自己評価作成日	平成27年2月11日	評価結果 市町村受理日	平成27年10月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kihon=true&JigyosyoCd=0893100024-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成27年4月28日	評価機関 決 済 日	平成27年9月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

自然あふれる静かな環境の中、ホームでは、入居者様は思い思いに生き生きと生活されております。理念にそってそのひとらしく生活出来るよう、必要に応じ援助をし、出来る事を大切に、共に協力し合い、ふれあいながら楽しみのある生活を送れるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

景勝地大洗海岸の近隣に立地し、近くの源泉より運んだ天然温泉で利用者が入浴を楽しめるようになっている。
運営母体が協力医療機関であり、月2回の訪問診療のほか、緊急時には適切な医療を受けられることが利用者や家族等の安心につながっている。
利用者の要望で外出支援を増やすとともに、遠距離の場合には看護師が同行するなど、利用者の体調管理にも配慮している。
職員は笑顔で利用者一人ひとりの思いを大切に、その人らしく生活できるよう努めている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「そのひとらしさを尊重し、地域の方々と交流を深め笑顔で健やかに過ごせるように支援致します。」という理念に沿ってケアするよう努めている。	地域密着型の意義を踏まえた理念を管理者と職員で話し合って作成し、玄関や各ユニットの事務室に掲示するとともに、職員会議時に唱和して確認するなど、共有して実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議を開催し、地域の方々と交流を深めるよう努めている。また、散歩や外出の際に、地域の方々と挨拶や会話を交わし触れ合っている。	利用者と職員は、散歩や外出時に地域住民と挨拶を交わしたり、地域の祭礼の神輿や山車、踊りの行列を見物したりして日常的に地域住民と交流している。 事業所は中学生の職場体験を受け入れているが、地域のボランティアを受け入れるまでには至っていない。	地域のボランティアなど、地域資源を活用して地域との交流を広げることを期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を開催し、ホームの持っている現在までに養った知識や経験を伝えるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	写真や資料を用い、日頃の取り組みを説明させていただいている。役場の方や民生委員の方の意見や考えを参考に、日々のケアやサービスの向上に生かしている。	運営推進会議は家族等の代表者や町職員、町内会長、民生委員、職員等で2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の様子や運営状況、今後の予定等を報告するとともに、出席者からの運営に係る要望や助言、意見などを聴いている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役場の介護保険課の方との連携を深めるよう努め、必要な書類等の提出や運営推進会議を通じて、情報の提出や意見の交換を行い、サービスの向上に努めている。	管理者は随時町の介護保険課を訪問し、事業所の入居状況を報告したり、利用者の要介護更新申請に関する書類を提出するほか、町担当者からは入居者の紹介を受けるなど、良好な関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベット柵の使用をしない事などはもちろん、入居者様それぞれが、自由に暮らせるよう心がけている。玄関のカギに関しては、ホームが道路に面していることもあり、施錠させていただいている。	身体拘束排除に関する職員研修を実施し、禁止の対象となる身体拘束の具体的な行為の認識を図るほか、職員は日々の介護のなかで疑問が生じた場合に、申送り時等で話し合い、確認して身体拘束のない介護に努めている。 やむを得ず身体拘束が必要になった場合に備え、「同意書」や「経過観察記録」、「再検討記録」を整備している。 事業所は幹線道路に面しているため、危険防止のため家族等に了解を得て玄関は施錠しているが、施錠について家族等から書面にて同意を得るまでには至っていない。	玄関の施錠について、家族等から書面にて同意を得るとともに、解錠に向けて職員で定期的に話し合うことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを作成し、勉強会を行い、知識や理解を深める事で防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルを作成し、勉強会を開き、制度について学び、理解を深めるよう努めている。必要に応じて、活用していきたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際に丁寧に説明するよう心がけ、疑問点等解消されるまでお話しさせて頂き、納得が得られるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が面会に見えた際、管理者が対応し、直接お話ししたり、玄関に意見箱を置くなどしている。	管理者や職員は、利用者からは日々の関わりの中から、家族等からは面会時や電話で話を聴いている。 出た意見や要望は、管理者と職員で話し合っ て運営に反映している。 家族等からの要望で、外出する行事を増やしている。 家族等の意見を広く求めるアンケートを実施するまでには至っていない。	家族等の意見や要望を幅広く取り入れるためにも、無記名の家族アンケートを実施することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員とのコミュニケーションを図るよう心がけるとともに、申し送りや会議、交流会にてスタッフの意見を聞き、反映させている。	管理者は月1回の職員会議で、職員の要望や提案を聞いているほか、申し送り時や日常の会話の中など、機会ある毎に職員の意見を聞くよう努めている。 職員の提案により、浴室のシャワーチェアを利用者が移乗し易いタイプに変更している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	交流会を開き、スタッフが意見を話しやすい環境を作っている。また、就業規則をスタッフがいつでも見る事が出来る場所に置いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への積極的な参加も勧めるとともに、資格取得を応援している。また、日々の中で、知識・技術の指導に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の講習会に積極的に参加するよう取り組み、同業者や関係機関との情報交換の場とし、質の向上を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化に対応して行けるよう、表情や言動、しぐさに気を配り、本人のペースに合わせ、ケアするよう心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様ご本人だけでなく、ご家族の話にも耳を傾け、不安を拭えるよう、丁寧に説明するよう心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居希望の理由や、心身の状態を考え、本人と家族にとって、必要な支援を検討し、対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様それぞれが、得意分野での力を発揮して頂く事で、自信を持っていきいきと生活して頂けるように、家事や花の手入れなど、積極的に参加できる環境づくりに努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に見えた際や電話にて連絡を取り合い、共に支援していく関係を気付くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	散歩やドライブにて馴染みの場所に行ったり、友人の方に面会に来ていただいたりしている。	利用者の元職場の友人や近所の友人が訪ねて来た際には、職員は居室に案内するとともに、お茶を出すなど、これまでの関係が継続できるよう支援している。 利用者の要望で、行きつけのスーパーマーケットでの買い物や思い出の海岸通りにドライブに出かけるなど、馴染みの人や場所との関係が継続出来るよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士、良好な関係が築けるよう、レクリエーションを取り入れたりし、スタッフが橋渡し役となれるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了しても相談していただけるよう取り組んでいる。さらに相談しやすい環境作りに取り組んでいきたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族やご本人から思いを聞き、また、困難な場合は表情やしぐさから察し、本人本位のケアをするよう努めている。	利用者の基本情報から生活歴や思いを把握するとともに、日々の生活での会話や表情から思いを推し測り、変化を感じた時は、「申し送りノート」に記載して情報を共有している。 意思の疎通が困難な利用者の場合は、普段から表情や仕草、態度から利用者の思いを把握するよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族の方から生活歴やサービス利用についてお聞かせ頂き、スタッフの目の届く場所に保管し、把握に努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方や心身の状態について記録し会議や申し送りにて情報を共有することで現状の把握に努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを通して、情報を共有し、本人のニーズにそったケアが出来るよう努めている。	介護計画は利用者や家族等の意向を取り入れるとともに、支援経過記録を基に課題を把握し、医師の意見を取り入れて職員で話し合っ作成している。 3ヶ月毎にモニタリングを実施して短期目標を見直し、長期目標は6ヶ月毎に見直している。 利用者の心身の状態や家族等の要望に変化が生じた場合は、随時モニタリングを行って介護計画を見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践について個別に記録し、申し送りや会議にて話し合い、よりよいケアを提供できるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同法人のクリニックと連携し、多くのニーズに対応出来るよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	慣れ親しんだ地域の中で、本人らしく生活出来るよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個人のかかりつけの医療機関を把握し、必要時には、家族と連絡を取り、迅速な受診を心がけている。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診は、家族等の付き添いが原則となっているが、家族等が付き添えない場合には、職員が付き添っている。 職員は利用者の家族等が付き添った際には、受診結果を聴き「申し送りノート」に記録している。 職員が付き添った際には、電話などで家族等に報告している。 月2回の協力医療機関の医師による訪問診療を受診できる体制を築いている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人のクリニックの看護師と密に連絡を取り、適切な対応が施されるよう協力体制を気付いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院のケースワーカーさんと連絡を取り合い、早期退院出来るよう努めている。近隣の病院との関係づくりにも努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人やご家族の意見を大切にし、医師や看護師・関係各所とも連携を図り、考えを共有し支援するよう努めている。	契約時に「重度化した場合における（看取り）指針」にて看取り介護の具体的支援内容を利用者や家族等に説明し、同意を得ている。事業所での看取り介護は、現時点では行っていない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会を開き、知識、技術の向上に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練や勉強会を通じ、いざという時に対応出来るよう努めている。地域との協力体制は今後強化していく必要がある。	年2回消防訓練を実施し、避難に要した時間や訓練で明らかになった問題点、反省点を記載した実施記録は作成しているが、地域住民の参加や協力体制を構築するまでには至っていない。 災害に備えて水や米、缶入経口栄養剤、カンパンなどを備蓄品リストを作成して管理している。	避難訓練に地域住民の参加が得られるよう、運営推進会議などを通して働きかけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の生活歴や性格の把握に努め、尊厳を損なわせることのないよう、丁寧に接するよう心がけている。	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。 契約書等個人情報に関する書類は、事務室の施錠が出来る書棚に保管し、取り扱いには十分注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	例えば、レクリエーションの際、何種類か用意し、好きな事をしていただいたり、スタッフが押しつけることのないよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や食事、排泄、行事やレクリエーションの参加等出来る限り、ご本人が意思決定出来るよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	さりげなく、くしや髭剃りを置いておいたりし、おしゃれに興味を持つようにしたり、ご自分で行うのが困難な方に対してはお手伝いするようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	家庭菜園にて野菜と一緒に育てたり、収穫したものを提供している。お膳を下げるなど出来る事をお手伝い頂いている。	宅配業者からカロリー計算がされた献立の食材が届き、利用者の嚥下能力に合わせて事業所で調理している。 職員は利用者と同じテーブルに着き、食事介助や見守りをしながら食事をしている。 雛祭りや誕生会等の行事では、ちらし寿司やケーキなどを出すなど、利用者の楽しみとなるよう工夫している。 利用者はできる範囲で、下膳やテーブル拭きなどの役割を担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	十分な水分量が摂取できるよう、様々な飲み物を提供している。状態に応じ、飲みやすいコップにしたり、とろみをつけたりと対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれの能力に応じ、ケアするよう努め、必要時には歯科受診している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を作成し、もれなくチェックすることで排泄パターンの把握に努めている。パットやおむつの使用については、ケアカンファレンス等を通じて見直すよう心がけている。	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、個人の排泄パターンに合わせたトイレ誘導や、利用者が自分で出来ることはやって貰うなど、自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘がもたらす日常生活への影響も強く捉え、体操やレクリエーションを行い、身体を動かして頂くと共に病院と連携し、便秘の予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調や気分留意し、無理強いする事なく楽しく入浴できるよう努めている。	お風呂のお湯は近くの源泉から運んだ温泉で、入浴は週3回を基本とし、利用者が希望する時間帯に入浴できるよう支援している。季節に合わせて菖蒲湯や柚子湯を取り入れ、入浴が楽しめるよう支援している。入浴を拒む利用者には声かけの時間帯を変えるなど、無理のないように促している。体調に合わせて清拭や足浴に変更し、対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間を特に決めず、好きな時間に眠っていただくようにしている。また、日中、レク等により、活動的に過ごして頂く事で、夜間ゆっくりと眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報書をファイルにとじ、スタッフの目につく所に保管するとともに、薬が変わった際は、申し送りを徹底し把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の生活歴や好みを尊重し、一人一人の出来る事や能力を見極め日々の暮らしの中で力を発揮し、生活出来るよう支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族の方にご本人の希望をお伝えし、外出や外食にご協力いただいている。また、年間行事等で、外出の機会をつくっている。	年間行事計画を立てて、大洗海岸や馬渡はにわ公園、六地藏大串公園、千代田の梨狩りなどに出かけたり、利用者の体調に配慮しながら散歩に出かけ、五感を刺激したり、季節を感じられるよう支援している。 敷地内の自家菜園でナスや胡瓜、さつま芋などの野菜を栽培し、外気浴を楽しめる機会となっている。 家族等の協力を得ながら、利用者が希望する外出や外食ができるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理については、トラブル防止のため、ホームにて行っている。買い物等で金銭を必要とする時は家族と共にお出かけして頂けるようお願いしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	暑中見舞いや年賀状を出す際に、字を書くのが困難な方には一緒にペンを持ち書いたり、代筆している。電話に関しても番号を押してさしあげたりし、対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の空間には明るく落ち着いた雰囲気を作り、季節の花を置き、毎日の掃除により、いつもきれいな清潔感のある場所となっている。	共用空間はエアコンや空気清浄機、加湿器などで室温等が調整され、快適な空間となっている。 居間兼食堂の一角にある畳敷きのコーナーに、マッサージチェアやソファが置かれ、利用者が新聞や週刊誌を読んだり、会話を楽しめる場所になっている。 玄関や居間、階段の窓際には、季節の花や観葉植物が置かれ、季節感を感じる空間となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フローアの中に畳の間があり、また、窓際に、椅子を配置したりと工夫し、その時の気分に合わせ、生活を送れるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベットやタンスは備え付けであるため、他のもので、馴染みのものがあれば、ご家族に頼み持ってきていただいたりしている。	居室には介護用電動ベッドやナースコール、エアコン、クローゼット、床灯台、椅子、テレビ、時計、カーテンを備え付けている。 なるべく自宅と同じ様に過ごせるよう持ち込むものは制限せず、ぬいぐるみや衣装ケース、家族の写真、趣味の書道の作品などが置かれ、居心地よく暮らせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	入居者様が過しやすいよう、且つ、家庭生活として不自然にならないよう心がけている。例えば、風呂の入り口にのれんをかけたリ、逆にまぎらわしいものは置かないように配慮している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム温泉大洗

作成日 平成27年10月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の方、ボランティアとの交流を広げていない	地域への行事参加やボランティアを受け入れる。	行事等に近隣住民、保育園など呼びかけ、招待する等交流を図る。	1年間
2	5	ホームが道路に面しており安全性の観点からと、又、ご家族の要望もあり玄関のカギの施錠をしている。	玄関のカギを施錠しないようにし、ドアの解放時間を設ける。	施設長、管理者、スタッフ間で話し合い玄関を施錠せずに済むように検討し話し合う時間を設ける。	1年間
3	10	無記名アンケートの実施が出来ていない。	無記名アンケートの実施	無記名のアンケートの実施に向けて、施設長と管理者で話し合う。	1年間
4	35	避難訓練に近隣の方の参加がない。	地域の方々に、避難訓練に参加して頂く。	地域の民生委員などを通じて近隣住民の方に避難訓練の参加をお願いする。	1年間
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。